

交流センターだより



No.189
令和6年
12月号

おおとし

大歳地域交流センター
公式X(Twitter)アカウント

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,020 世帯数 7,018
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) 令和6年11月1日現在

第48回大歳まつりを開催しました！

今年度の大歳まつりは、前日雨天のため、舞台・やぐら等のセッティングがかなわず、地域交流センターでの縮小開催となりました。

まつり当日は天候に恵まれ、ステージ出演や出店・センター内展示など、様々な催し物でおまつりが盛り上がりしました！

ご来場の皆さま、運営にご協力いただいた皆さま、会場周辺にお住まいの皆さまには心から感謝申し上げます。



市民スポーツ大会に大歳代表選手が出場しました！

10月14日(月・祝)に令和6年度山口市民スポーツ大会が開催されました。上位を狙うことはもちろんですが、楽しみながら親睦を深めることを目標に奮闘しました。

ソフトボールはAブロック残留決定戦敗退、バレーボールはAブロック残留決定戦勝利、グラウンド・ゴルフは5位、卓球はBブロック2位、陸上レクスポーツはBブロック7位(400mリレーは2位!)でした。

選手の皆さん、大変お疲れ様でした。また、ご協力・応援をいただいた皆さん、本当にありがとうございました。



陸上レクスポーツでは、地区体育祭で優秀な成績を収められた中矢原分館、岩富分館をはじめ、大歳地区住民のみなさんのご協力の元、チームを結成しました。

『七草がゆ試食会』にお越しください♪

大歳地区恒例の『七草がゆ試食会』

今年度は下記日程にて行います!

大歳地区食生活改善推進協議会の皆さんにご協力いただき、地域の皆さんにふるまいます♪

なお、センターでの試食は行いません。作った七草がゆを容器に入れてお渡ししますので、空の容器を持参してくださいね♪

申込不要

【日 時】1月7日(火)

11時00分～13時00分

【場 所】大歳地域交流センター

【参加費】無料

【持参物】空の容器

(できれば保温できるもの)



『みんなの広場』からのお知らせ

今月の「みんなのひろば」は、いつもより拡大して開催します。山口総合支援学校の生徒さんの作品展示もあります。一緒に楽しいひとときを過ごしませんか。お気軽にご参加ください!!

【日 時】12月21日(土) 13時30分～16時00分

申込不要

【場 所】大歳地域交流センター
講堂・会議室①②(2階)

【内 容】

- ・フォークダンスクラブの鑑賞&体験
- ・いきいきクラブ体操
- ・シニア大歳の活動紹介(ホームページ)
- ・シニア大歳会員の作品展示(系手毬・手作り小物)
- ・山口総合支援学校の生徒の作品展示・即売

【参加費】100円(おやつ・ドリンクバー付き)

【問い合わせ】大窪(080-2904-8193)



展示作品の一例



大歳地区バドミントン大会結果報告

9月29日(日)大歳小学校体育館にて開催しました第47回分館対抗バドミントン大会の結果を報告します。

1部ブロック

優勝 中矢原A

準優勝 岩 富 A

2部ブロック

優勝 岩 富 B

準優勝 中矢原B



中矢原のみなさん



岩富のみなさん

子ども部会からのお知らせ

「大歳おしごと体験!」のイベントにおいて、駄菓子屋「にじ」が交流センターで出張販売をします!

大歳地区の小学生が、駄菓子屋「にじ」のお仕事を体験します。皆様お誘い合わせの上、ご来店くださいませ。

※お約束ごとをいくつか提示しております。

ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。

【日 時】12月7日(土)
10時00分～11時00分
13時00分～14時00分

【場 所】大歳地域交流センター 会議室①

当日、交流センターでは、警察官や消防団のお仕事体験も実施しております。小学生の頑張る姿を応援してください!!

【問い合わせ】
大歳まちづくり協議会
子ども部会
網屋(090-4010-9726)



「食推さんの料理講座」のお知らせ

1日の野菜摂取目標量は350g以上です。山口県は野菜摂取量が全国40番目です。野菜がたくさんとれるレシピを一緒に作って試食しませんか！

要申込

- 【日 時】12月18日(水)
10時00分～12時00分
【場 所】大歳地域交流センター 講座室
【参加費】200円
【持参物】エプロン
【定 員】15名程度
【備 考】レシピは「豚肉のソースマリネ」、
「たらと野菜の白いスープ」です。
【申込先】大歳地域交流センター 地域担当
(083-922-4035)

交流センターからのお知らせ

大人の習い事ランキングでも常に上位の「ヨガ」を体験してみませんか！
若い方からお年寄りの方まで、大歓迎です。

要申込

- 【日 時】12月16日(月)
10時00分～11時30分
【場 所】大歳地域交流センター 和室
【参加費】無料
【持参物】軽い運動のできる服装、飲み物
【定 員】12名程度
【講 師】岡崎千絵先生

【申込先】大歳地域交流センター 地域担当
(083-922-4035)

お正月の輪飾りを作しましょう！

- 【日 時】12月22日(日)
14時00分～17時30分
【場 所】大歳地域交流センター 講座室
【参加費】100円 ※中学生以下は無料
【持参物】お茶(飲み物)、持ち帰り用袋、
あれば大きめのはさみ
【対象者】親子で合計30名程度
【申込締切】12月17日(火)
【主 催】くすの木母親クラブ
【共 催】大歳地区子ども会育成連絡協議会
【申込先】宮成(090-6842-1458)
※輪飾りのお持ち帰りは1人2つまで

要申込



どんど焼きのお知らせ

1年の無病息災を祈る「どんど焼き」を地域行事として開催します。神様に関係のあるものを焼く行事になります。燃やすものは門松やしめ縄などのお正月飾りです。古札、お守り、書き初めについても持ち込み可能です。

申込不要

- 【日 時】1月13日(月・祝)
10時00分～14時00分
【場 所】朝田神社
【問い合わせ】宮成(090-6842-1458)

※正月飾り等は、みかんや針金、プラスチック類を事前に取り除いておいてください。

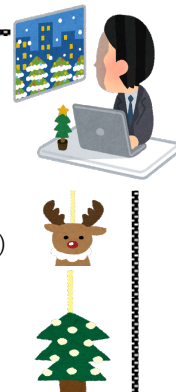


【大歳地区12月の行事予定】

- 1日(日) 交流センター大掃除(8:00～9:00)
2日(月) 燃やせないごみの日
7日(土) 大歳おしごと体験
8日(日) 大歳体育振興会長杯争奪少年サッカー大会
11日(水) 母子相談
12日(木) 金属・小型家電製品の日
13日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
14日(土) カローリングクラブ(9:00～)
※7日(土)のカローリングクラブは実施しません
16日(月) ヨガ体験教室(10:00～)



- 18日(水) びん・缶の日
食推さんの料理講座(10:00～12:00)
20日(金) パソコン相談(受付10:00～10:30)
太陽クラブ【クリスマス会】(10:00～)
21日(土) みんなの広場(13:30～16:00)
22日(日) お正月の輪飾りづくり(14:00～17:30)
23日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
26日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
27日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
※木曜日はプラ容器包装分別収集



小郡遙拝所の建立 その2 石州街道は参道

「西のお伊勢さま」 まいり

山口大神宮は、永正17（1520）年に、大内義興が伊勢神宮の分霊を山口に勧請して創建された神社です。伊勢神宮は内宮（天照大神）と外宮（豊受大神）がありますが、江戸時代のお伊勢まいりは、外宮の豊受大神（農業の神様）の参拝者が多かったといわれています。外宮では、御師を全国各地に派遣し、御札や暦を売り、宣伝活動や宿舎の手配などをし、お伊勢まいりを勧めていました。しかし、九州や本州の西国の人々にとっては、伊勢はあまりにも遠く、費用がかかりました。このため、山口大神宮を参拝することになり、山口大神宮は九州や四国・石見地方からの参拝者、特に九州の筑豊地方（福岡・大分県）からの参拝者が多く、大変賑わったといわれています。

「山口大神宮誌」^{（註1）}によると、「当宮の信仰は西の大神宮とも呼ばれたように、西国に広く信仰せられていた。今日、国東半島地方で本宮から頒布せられた大麻を民間でもみることがあるが、大内時代から豊前、筑前または石見地方から参拝者が多かった。・・・大内時代には年末には当宮からも御玉串暦本等頒布したと伝えられる。豊築地方では一生一度は必ず山口大神宮に参拝せねばならぬ。山口大神宮に参拝した娘でなくては嫁にもらわぬとまでいわれたこともある。」とあります。また、幕末の山口大神宮が代官所にだした遙拝所建立の要望書^{（註2）}にも「・・・、建立が急がれます理由は、当月から当社の手代が筑前・筑後・豊前・豊後を回り、参詣の手配・・・」とあり、幕末に参拝者の勧誘が、九州の筑豊地方に組織的に行われていたことがわかります。

石州街道は参道

九州などの山口大神宮の参拝者は、山陽道の小郡・津市から石州街道に入り、山口大神宮に参拝していました。「小郡町史」（昭和54年発行）によると「山口大神宮の案内所として、当時（幕末）、山陽道本筋であった津市角に大灯籠があり、そばに、楼門があった。道路拡張工事によって、楼門は解体され、大灯籠は大神宮（小郡遙拝所）下の参道筋に移転されている。高さは21尺（約6m）の大灯籠で、表に「山口大神宮」とあり、裏面には「天保11（1840）年春、世話人・・・」。台座には方位を示すための大阪・江戸」とあります。^{（註3）}中世から近世にかけて、石州街道は山口大神宮のお参りの道、参道でした。幕末、参拝者が、津市の大灯籠で道を確認し、楼門をくぐり、石州街道を東に向かい、宿駅の黒川市を抜け、山口大神宮に向かっていく歩く姿が想像できます。しかし、幕末の情勢下、山口に入る諸口に関門が設置された以降、はるばる九州などから来た参拝者は、目的を果たせず、帰国の途についていました。こうした事態に地元から遙拝所建立の動きがでできます。次回に続きます。



山手下の小郡遙拝所の参道筋に移された「山口大神宮石灯籠」

参考資料「日本史をみなおす」田村貞雄著。「山口大神宮台道・小郡遙拝所の建立」広田暢久。

（註1）山口大神宮式年遷宮奉賛会 昭和35（1960）年発行。（註2）文久3（1863）年10月に山口大神宮が出した要望書（詳細は次回）。（註3）「小郡まちかど見てある記 第1集」（小郡民報社）によると「大神宮石灯籠は昭和33年ごろまで津市下の材木店のそばの座にあった。山陽道にあたるところで、お旅所もありお祭りには演芸大会などにぎわった。」とある。

（文責：大歳史談会 白上茂樹）